

宮川の風 第43号

平成30年4月20日（金）発行
宮川小学校校長室からのたより

最上級生の6年生はもちろんのこと、高学年に仲間入りした5年生も、自分自身の「動き」について学んでいます。朝のボランティア活動においても、正門でのあいさつ運動、校舎内外の清掃活動などに取り組んでいます。何事においてもお手本であり、高学年の動きによって学校全体の活気が変わってきます。

子どもたちの「動き」において大切なことは、自主性です。指示待ちではなく、自分から動くことが求められます。指導する私たちからしても、最終的には自ら動く力を求めています。この「自ら動く力」の原動力は、「考える力・判断する力」です。与えられた動きを繰り返すことをやり遂げられるようになったら、次は、自分で考えてよりよい動きを取り入れていけるようになることが求められるのです。

裏面のお話をお読みください。

前年度末に発行した宮川の風第39号（3月2日付け）でふれた息子の入学式ついでの日ズニーランドでも感じましたが、TDLのスタッフのサービスと笑顔は、お客である私たちを夢の国へ案内してくれます。その背景には、自ら考えて行「おもてなしの心」があるのですね。

「マニュアルにないのでできません」「マニュアルにないので上司に確認します」といった対応ではなく、サービスの相手であるお客様の立場に立って考えた「おもてなし」が、感動を与えてくれるのです。

子どもたちにも、そんな力を身に付けてほしいと思っています。「考える」ことを大切にしてほしいものです。指導する側も、子どもたち自らが考える場を設け、自主的な活動を支えていきたいと思えます。これからの高学年生を中心とした宮川っ子の自主的な「動き」に注目しています。

水曜日に交通教室を行いました。低学年は、横断歩道の正しい渡り方を中心に指導し、実際の横断歩道で練習しました。中・高学年は、自転車に乗る際のきまりや注意点を指導し、実際に自転車を使っての練習をしました。ブルーベリーロードに囲まれて安全面では恵まれた校区ではありますが、交通事故はいつ・どこで起こるか分かりません。今回の教室で学んだことをしっかりと守ってほしいと願っています。

また、車を運転する側の私たちにも安全運転の義務があります。交通法規をしっかりと守り、安全・安心な地域づくりに貢献したいものです。今年度から、学校東側の道路が40kmから30km制限になりました。地域からの働きかけに感謝しています。

ある日のできごとから

新しく宮川小に赴任した職員を子どもたちに紹介する新任式は、任命の期日の違いから2回行いました。天候や日程の都合で2回とも校内のテレビ放送を使っての紹介となりました。2回目の紹介は、29年度から継続となった音楽専科の紹介でした。最初に私がカメラの前に立ち「おはようございます」とあいさつすると、上の階から1階の放送室まで「おはようございます」と元気な声が聞こえてきました。次に、音楽専科に替わり「おはようございます」と言うと同じように「おはようございます」と聞こえてきました。そして、職員が「ただいま～」と言うと「おかえり～」と歓迎の音が校舎中に響き渡りました。

私はそのことから、子どもたちの明るさや優しさ、そして、あたたかさを感じ、とっても嬉しくなりました。迎えられた職員はもっと嬉しかったことでしょう。カメラの向こう側の様子は見えませんでしたが、はじける笑顔で思いっきり声を出す様子が想像できました。

子どもたちから元気とやる気をもらった新任式となりました。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）

